

令和8年度 学校説明会

校長説明

開進第二中学校で過ごす3年間

私たちが目指す学校

令和8年度「学校経営計画」に掲げる4つの学校像

1

明日も行きたい

生徒の笑顔にあふれ、
明日も登校したくなる学校

2

安心して送り出せる

保護者にとって、安心して子供を登校させることのできる学校

3

地域とともに

地域とともに歩み、
協力を得られる学校

4

チームで解決

「チーム」として、
迅速に課題を解決する学校

この4つを、学校経営の基本に置いています。

3年間で育てたい生徒の姿

教育目標「自立・勤労・協調」を、具体的な生徒像として捉えます

自立

よく考える人になろう

基礎・基本を身に付け、主体的に課題を解決する生徒

自分で考える

勤労

すすんで働く人になろう

責任をもち、役割を果たし、主体的に行動する生徒

役割を果たす

協調

ともにたすけあう人になろう

互いの違いを認め、人権を尊重し、主体的に協働する生徒

人と協働する

考える × 役割を果たす × 人と協働する

「自立」 — 主体的に学び、課題を解決する

基礎・基本から「自ら課題を解決し挑戦する」姿へ

自立

1年

基礎・基本を身に付け、
学ぶ習慣を確立する。

2年

学びを深め、自ら考え
課題解決に取り組む。

3年

学びを生かし、自ら課題
を解決し挑戦する。

授業・家庭学習で大切にすること

考える授業

発問を工夫し、話合いの
意図を明確にする

ICTを活用

タブレット等を、学びを深
める道具として活用する

未来につ なぐ

教科等の学びと、夢や将
来をつなげる

家庭学習 につなぐ

学校での学びと家庭学習
を結び付ける

「勤労」― 役割をもち、主体的に行動する

集団の一員から、学校を中心として行動する姿へ

勤労

1年

集団の一員としての自覚をもち、役割を果たす。

2年

責任感を高め、主体的に行動しやり遂げる。

3年

自覚と実践力をもち、主体的に行動する。

学校生活で育てること

役割と自己実現

生徒会・委員会・部活動などで役割を担う

体験の意味

職場体験等を「人の役に立つ」実感につなげる

共感・感謝・敬意

思いや願いを受け止め、学校への帰属意識を高める

健康・安全を自分事に

体力、交通、災害等への当事者意識を高める

「協調」 — 違いを認め、人とつながる

人権を尊重し、よりよい集団をつくる力を3年間で育てます

協調

1年

他者を認め合い、思いやりをもって関わる。

2年

多様性を認め、人権を尊重して協働する。

3年

自他ともに尊重し、よりよい集団づくりに努める。

東京都教育委員会 人権尊重教育推進校

研究テーマ「自己肯定感を高め、多様性を認め合う生徒の育成」

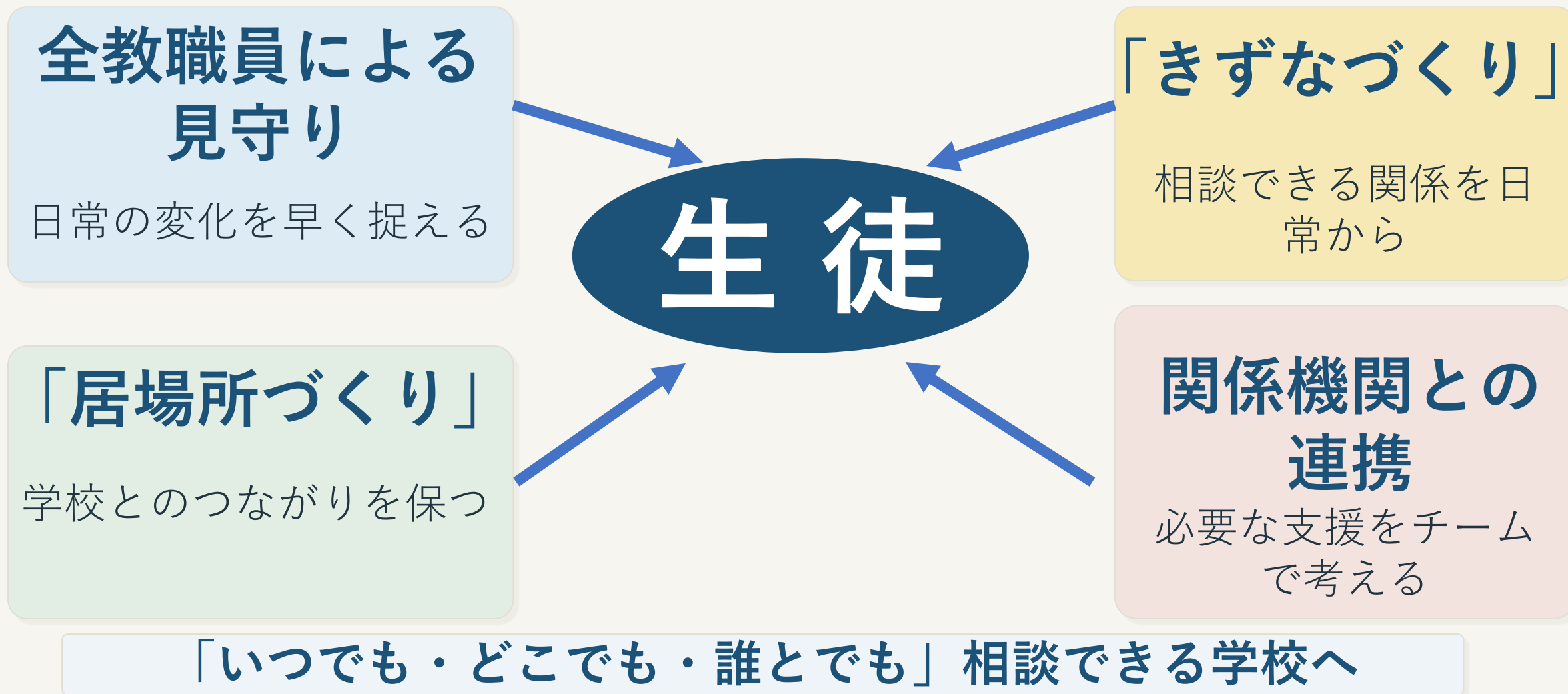
**3年間継続する
人権教育** 教科・道徳・特別活動・総合を人権課題と関連付ける

**日常そのものを
人権教育に** 意見を聞く・言葉を選ぶ・相手の立場で考える

**自分も相手も大
切にする** 違いをなくすのではなく、違いを認めて共に学ぶ

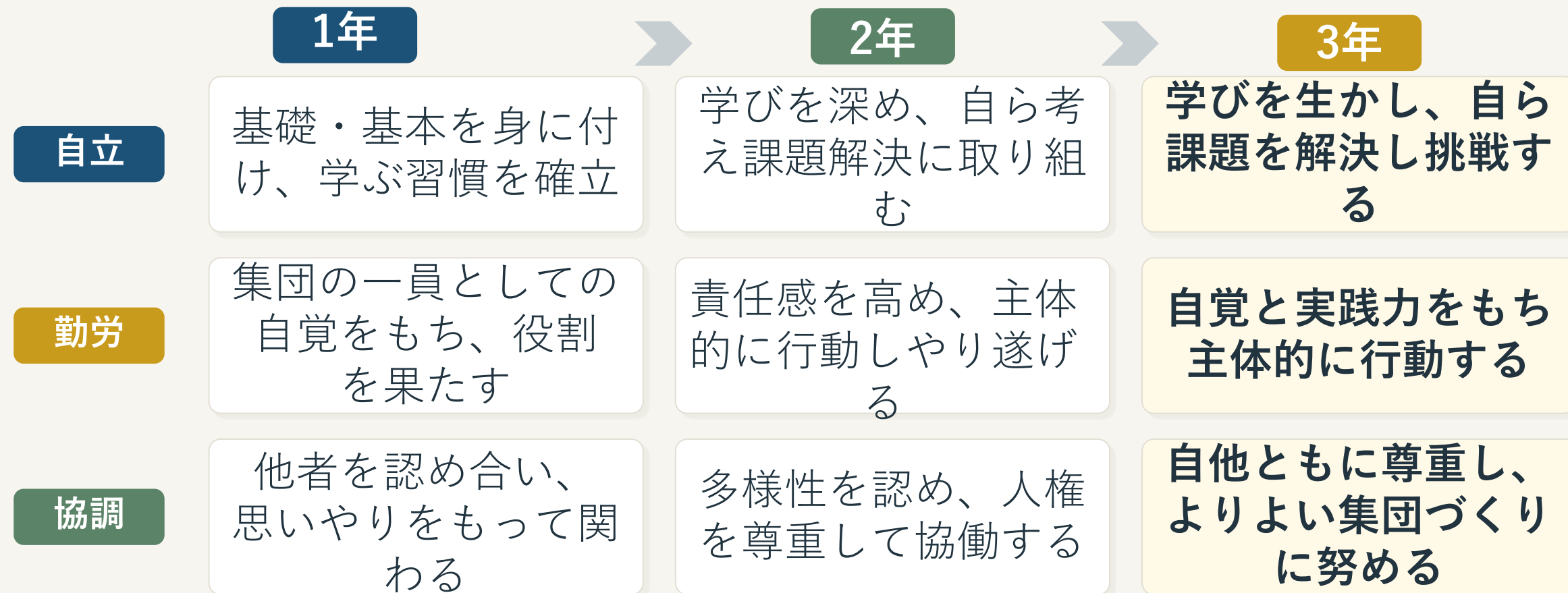
居場所ときずなをつくる学校

いじめ・不登校は「未然防止」と「早期対応」。学校全体で見守り、つながります



1年・2年・3年と成長していく

入学時から完成を求めるのではなく、3年間で段階的に力を育てます



慣れる → 深める → 挑戦する

家庭・地域とともに、チームで育てる

生徒を真ん中に置き、早めに情報を共有して支えます



早めの情報共有 → チームで迅速に課題を解決

「明日も登校したくなる」「安心して送り出せる」学校へ